

研究成果及び活動一覧（2020.1.1～12.31）〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など
 B：学会での口頭発表その他の活動
 C：講演、論説など
 D：学術的調査

青山英正

- A：1 （図録）『科研費調査報告展 伊勢商人川喜田家への手紙——数寄（好き）のつながり』、公益財団法人石水博物館編、青山英正・神谷勝広・早川由美・菱岡憲司・石水博物館分担執筆、2.22.
 2 （単著）『幕末明治の社会変容と詩歌』、勉誠出版、496頁、2.25.
 3 （科研費成果報告書）『「伊勢商人の文化的ネットワークの研究——石水博物館所蔵書簡資料をもとに」研究成果報告書』、青山英正（編）・浦野綾子・神谷勝広・高倉一紀・早川由美・菱岡憲司、3.14.
- B：1 科学研究費補助金基盤（B）「伊勢商人の文化的ネットワークの研究——石水博物館所蔵書簡資料をもとに」（研究課題番号15H03183）、研究代表者、3月まで。
 2 科学研究費補助金基盤（B）「写本文化としての日本近世—国際貢献できるUCパークレー校蔵写本目録作成を通じて」（研究課題番号17H04520、研究代表者：勝又基）、研究分担者。
 3 （学会活動）鈴屋学会常任委員。
 4 （学会活動）鈴屋学会機関誌『鈴屋学会報』編集委員長。（8月から）
 5 （学会活動）日本近世文学学会常任委員。
 6 （学会活動）日本文学協会委員。
 7 人間文化研究機構国文学研究資料館地域資料専門部会委員。
 8 （展覧会）「科研費調査報告展 伊勢商人川喜田家宛書簡——数寄（好き）のつながり」、於石水博物館、2.22-4.12.
 9 （学術活動）新派旧派研究会（代表：井上泰至）における青山英正著『幕末明治の社会変容と詩歌』（勉誠出版）合評会、オンライン、10.17.

内海敦子

- A : 1 'Base Classification and Word Class in the Bantik language' 明星大学研究紀要—人文学部—日本文化学科、第28号、pp 106-82.
2 'Address Terms in the Malay World' NUSA: Linguistic Studies in and around Indonesia. Vol. 68、pp 23-50.
- B 1 学会発表: 'Discourse Functions of Aspectual Clitics in Languages of Southeast Asia'. Societas Linguistica Europaea The 53rd Annual Meeting 2020. Digital Platform, Zoom, Internet. 08. 31
- D 1 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 NUSA 編集委員 共同研究員 01.01~12.31

勝又 基

- A : 1 (共編著)『仮名草子集成』第64巻、東京堂出版、p 280、10.20.
- B : 1 科研費補助金(基盤(B)海外学術)「写本文化としての日本近世—国際貢献できるUCバークレー校蔵写本目録作成を通じて」(課題番号17H04520) 研究代表者、1.1~12.31
- C : 1 (学会発表)「Was Ono no Komachi a “Virtuous” Woman?: Changing Ideology, Changing Interpretation」(英語)、AJLS(米国日本文学会)、エモリー大学、1.24
2 (招待講演)「Edo Ghost Stories and Media」(英語)、ノースウェスタン大学、2.20
3 (招待講演)「Rakugo: Traditional Japanese Comedic Storytelling」(英語)、ノースウェスタン大学、2.21
4 (招待講演)「Attack of the Peach Boy: The Politics of War in a Japanese Folktale」(英語)、シンシナティ大学(オンライン)、10.15
5 (招待講演)落語の実演とレクチャー(英語)、ブランダイス大学(オンライン)、11.17
- D : 1 (教育活動)桜美林大学大中真ゼミとの合同研究会、明星大学(オンライン)、12.12

向後恵里子

- A : 1 「惨澹たるもの——日露戦争における破壊された身体をめぐって」『如是我聞録』、『如是我聞録』編修委員会、pp.73-82、2020.2.
2 「破壊の展示——〈正しい〉イコノクラスムをめぐって」、研究代表者丹尾安典、編集代表向後恵里子、研究成果報告書『日本近代における〈イコノクラスム〉——破壊をめぐる視覚表象研究』、pp.51-58、2020.3.24.
3 解題:『絵葉書関係資料コレクション 出版/流布/収集』〈文圃文献類従〉別冊2、

金沢文圃閣、2020. 5.

- B : 1 早稲田 表象・メディア論学会 会計監査担当。
- C : 1 「人魚の乳房文化論——いかにして貝殻がブラと化すにいたったか」、乳房文化研究会オンライン研究会「乳房の表象」、2020. 10. 24.
- D : 1 編集：『絵葉書関係資料コレクション 出版／流布／収集』〈文圃文献類従〉第5巻「ビジュアルメディア出版関係・広告カタログ日本絵画出版業組合編『日本絵画出版業組合創立満二十五年記念集 組合月報 特輯』（1936年）【本文編】」金沢文圃閣、2020. 5.
- 2 編集：『絵葉書関係資料コレクション 出版／流布／収集』〈文圃文献類従〉第6巻「ビジュアルメディア出版関係・広告カタログ日本絵画出版業組合編『日本絵画出版業組合創立満二十五年記念集 組合月報 特輯』（1936年）【広告編】」金沢文圃閣、2020. 5.
- 3 編集：『絵葉書関係資料コレクション 出版／流布／収集』〈文圃文献類従〉第5巻「ビジュアルメディア出版関係・広告カタログ 黒田久吉『回顧八十年』（1963年）」金沢文圃閣、2020. 5.
- 4 2019. 12. 24 より産休、2020. 3. 25 より育休を取得。

古田島洋介

- A : 1 〔論説〕「訓読愚見」、東大比較文学会《比較文學研究》105号、pp. 143-148、2019. 12. 25. * 2020. 2. 2. 受領
- 2 〔事典執筆〕平川祐弘〔編〕『森鷗外事典』、新曜社、1. 10.
* 執筆=20項目：01) 桂湖村、02) 仮名遣意見、03) 雅文体、04) 寒山拾得、05) 漢詩、06) 記憶術、07) 毀誉褒貶、08) 訓読観、09) 下水道、10) 三大史伝と漢詩文、11) 自筆メモ、12) 大嘗祭、13) 大正天皇、14) 台湾、15) 手紙、16) 日露戦争、17) 日清戦争、18) 売春、19) 潘飛声、20) 横川唐陽
- 3 〔論文〕「漢文訓読の初期条件（初稿）〔中〕——なぜ孤立語を膠着語に変換できたのか？——」、《明星大学紀要・人文学部日本文化学科》第28号、pp. 1-27、3. 1.
- 4 〔解説〕平川祐弘『マッテオ・リッチ伝』、《平川祐弘決定版著作集『開国の作法』、勉誠出版、pp. 924-928、4. 10.
- 5 〔論文〕「森鷗外の訓読観——〈自然に背きたる調〉は〈陰の仕事〉」、山口直孝〔編〕講座《近代日本と漢学》第6巻『漢学と近代文学』、戎光祥出版、pp. 30-54、4. 20.
- B : 1 〔研究発表〕「〈骨^{ほね}〉が〈豊^{ゆたか}〉なのか？——解字から説き起こす体育とスポーツ」国際日本文化研究センター共同研究会：牛村圭教授〔主宰〕「文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ」第一年次第二回研究会、国際日本文化研究センター第

五共同研究室、3.20.

- 2 「東アジア比較文化国際会議」日本支部長、2012.6.～
- 3 国際日本文化研究センター共同研究会：牛村圭教授 [主宰]「文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ」共同研究員、2019.4.～
- 4 東大比較文学会《比較文學研究》107号（2021年刊行予定）特集「重訳」編集責任者、2020.4.1.～

- D：1 2年次科目〈近現代文化基礎演習〉1で「近体詩の諸規則」を、〈同〉2で「候文」を指導。
- 2 3年次科目〈比較文化演習〉1で「復文作業」を、〈同〉2で「白文訓読」を指導。

柴田雅生

- A：1 『『真字寂寞草』と『徒然草直解』——岡西惟中が注釈対象とした徒然草本文——、『明星大学研究紀要 人文学部日本文化学科篇』第28号、pp.29-36、3.9.

- D：1 3年次の日本文化演習において、学生とともに、『祝本狂言集』の本文解釈と諸台本との対照に基づく研究を行う。

田村良平（筆名：村上湛）

- A：1 報告：「能〈砧〉の再考・新演出について」、『明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科』28号、pp.37-40、明星大学人文学部日本文化学科、3.9.
- 2 評論：「(評・舞台) 国立劇場『10月歌舞伎公演』魁春の延寿、初役ながら見事」、『朝日新聞』夕刊(首都圏版)、10.15.
- 3 評論：「(評・舞台) 国立劇場『11月歌舞伎公演』吉右衛門の魂あらわな至芸」、『朝日新聞』夕刊(首都圏版)、11.19.
- 4 評論：「(評・舞台) 国立劇場『12月歌舞伎公演』白鷺と梅玉の芝居、活殺の妙」、『朝日新聞』夕刊(首都圏版)、12.10.
- 5 評論：「藝能伝承と舞台演劇と～太鼓方金春宗家継承能〈朝長 懺法〉」、『能楽タイムズ』4月号、能楽書林、4.1.
- 6 評論：「悪疫猖獗のなかで～3月の能・狂言」、『能楽タイムズ』5月号、能楽書林、5.1.
- 7 評論：『『不要不急』能・狂言の価値とは？～『能楽公演2020～新型コロナウイルス終息祈願』』、『能楽タイムズ』9月号、能楽書林、9.1.
- 8 評論：「梅若万三郎の〈芭蕉〉～『ひびの入った骨董品』か、否か」、『鼓楽・久田舜一郎後援会会報』47号、久田舜一郎後援会事務局、2.（日付不記）
- 9 解説：「狂言〈瘦松〉、能〈二人静〉」、『国立能楽堂』437号、pp.21-22、独立行政法人国立能楽堂、1.1.
- 10 解説：「能〈忠度〉、狂言〈孫掣〉、能〈室君〉」、『国立能楽堂』438号、pp.22-24、独立行政法人国立能楽堂、2.1.

- 11 解説：「狂言〈鬼瓦〉、能〈当麻 二段返〉」、『国立能楽堂』439号、pp.13-14、独立行政法人国立能楽堂、3.1.
- 12 解説：「狂言〈土筆〉、能〈熊野 村雨留〉」、『国立能楽堂』440号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、4.1.
- 13 解説：「狂言〈神鳴〉、能〈隅田川〉」、『国立能楽堂』441号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、7.1
- 14 解説：「脇語〈摂待〉、小舞〈住吉〉、仕舞〈遊行柳〉、能〈忠度〉」、『国立能楽堂』442号、pp.16-17、独立行政法人国立能楽堂、9.1.
- 15 解説：「狂言〈金藤左衛門〉、能〈江口〉」、『国立能楽堂』443号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、10.1.
- 16 解説：「狂言〈樋の酒〉、能〈俊寛〉」、『国立能楽堂』444号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、11.1.
- 17 解説：「狂言〈伊文字〉、能〈実盛〉」、『国立能楽堂』445号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、12.1.
- 18 解説：「山田流箏曲〈七福神〉について」、『石川県立音楽堂・新春檜舞台〜めでた、めでたの宝船〜パンフレット』、石川県立音楽堂、1.26.
- 19 解説：「仕舞、一調、能〈朝長〉」、『第11回塩津能の會 研鑽能 パンフレット』、塩津能の會、7.25.
- 20 解説：「能〈定家〉、狂言〈文山立〉、能〈殺生石 白頭〉」、『第12回清能会・塩津能の會 パンフレット』、塩津能の會、10.3.
- 21 解説：「観世流 能〈隅田川〉について」、『石川県立音楽堂・芸のかたち「演劇」音楽堂・演劇フェスティバル第2部 パンフレット』、石川県立音楽堂、10.4.
- 22 解説：「能〈屋島 弓流・那須〉、狂言〈栗焼〉、舞囃子〈卒都婆小町〉、能〈山姥 雪月花之舞・卯生〉」、『観世会 秋の別会 パンフレット』、観世会、10.4.
- 23 解説：「能〈敦盛 二段之舞〉、狂言〈鎌腹〉、舞囃子〈邯鄲 盤渉〉、能〈恋重荷〉」、『第49回桃々会 パンフレット』、閑能會、10.11.
- 24 随筆：「雪月花まわり舞台・第54回〜リチャード・カリノスキー〈月の獣〉」、『孤峰』2020年1月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、1.10.
- 25 随筆：「雪月花まわり舞台・第55回〜国立能楽堂狂言の會 野村万作〈法師ヶ母〉」、『孤峰』2020年2月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、2.10.
- 26 随筆：「雪月花まわり舞台・第56回〜歌舞伎座2月興行 13代目片岡仁左衛門追善〈菅原伝授手習鑑〉」、『孤峰』2020年3月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、3.10.
- 27 随筆：「雪月花まわり舞台・第57回〜世田谷パブリックシアター〈メアリ・ステュアート〉」、『孤峰』2020年4月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、4.10.
- 28 随筆：「雪月花まわり舞台・第58回〜ミュージカル〈サンセット大通り〉」、『孤峰』2020年5月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、5.10.
- 29 随筆：「雪月花まわり舞台・第59回〜歌舞伎座3月興行動画配信〈新薄雪物語〉」、『孤峰』2020年6月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、6.10.

- 30 随筆：「まえがき」、『茶室の花 生ける』、河原書店、11.22.
- 31 石川県立音楽堂「新春檜舞台～めでた、めでたの宝船」制作の相談に与る。(1.26. 石川県立音楽堂邦楽ホール公演)
- 32 「山勢麻衣子演奏会」制作の相談に与り、山田流箏曲〈熊野〉詞章現代語訳の監修を務める。(11.9. 紀尾井小ホール公演)
- 33 石川県立音楽堂「芸のかたち『演劇』音楽堂・演劇フェスティバル第2部 能〈隅田川〉」制作の相談に与る。(10.4. 石川県立音楽堂交流ホール公演)
- 34 個人ウェブサイト「村上湛・古典演劇評論」において評論・研究・随想を随時公開。

C：1 一般財団法人観世文庫評議員

- 2 講演：「音楽堂カルチャーナビ2020 Vol.2 人形浄瑠璃『文楽』プレ講座～『音曲の司』義太夫浄瑠璃の魅力～」、石川県立音楽堂、9.1.
- 3 講演：「能〈弱法師〉〈海士 懐中之舞〉について」、セルリアンタワー能楽堂定期能9月公演～観世流、セルリアンタワー能楽堂、9.22.
- 4 講演：「石川県立音楽堂・芸のかたち「演劇」音楽堂・演劇フェスティバル第2部 能〈隅田川〉～おはなし『死の縁』を超えて～」、石川県立音楽堂、10.4.
- 5 講演：「天女と老武者」、橘香会(能〈羽衣〉〈景清〉)、国立能楽堂、10.17.
- 6 講演：「能〈善知鳥〉とその周辺」、明星大学人文学部日本文化学科主催「能楽鑑賞会」(能〈善知鳥〉シテ：大槻文藏)、鏡仙会能楽研修所、12.23.
- 7 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室1月期講座「能をどう見るか 能〈当麻〉～浄土幻想の奇蹟劇」、朝日カルチャーセンター新宿教室、1.10、2.7、6.11.
- 8 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室7月期講座「能をどう見るか 能〈雲林院〉～濃艶なる浪漫劇」、朝日カルチャーセンター新宿教室、7.9、8.20、9.10.
- 9 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室10月期講座「能をどう見るか 能〈雨月〉和歌美学で彩られた神能」、朝日カルチャーセンター新宿教室、10.8、11.12、12.10.
- 10 講座：池袋コミュニティカレッジ1月期～10月期「『禅鳳雑談』精読」、池袋コミュニティカレッジ、1.11、2.8、5.11、6.8、15、7.13、8.17、9.14、10.12、11.16、12.14.
- 11 放送：NHK-Eテレ「にっぽんの芸能～同時解説で目からウロコ！ 能〈土蜘蛛〉」ゲスト出演、5.29、6.4。(収録)、7.17、20。(放送)

D：1 日本文化学科2年生学外講座として明星大学人文学部日本文化学科主催「能楽鑑賞会」(「日本文化基礎演習2」代替授業 能〈善知鳥〉シテ：大槻文藏)の企画・立案を担当する。鏡仙会能楽研修所、12.23.

- 2 日本文化学科学生研究会「源氏物語研究会」の研究指導を通年に互って担当する。
- 3 日本文化学科学生研究会「舞台藝術鑑賞会」の研究指導を通年に互って担当する。
- 4 日本文化学科学生雑誌『蝦蟇』の顧問を務める。

服部 裕

- A : 1 論文：ハンナ・アーレントの帝国主義論——国民国家崩壊の「物語」——、明星大学研究紀要・人文学部・日本文化学科、第28号、pp(41)-(55)、3.9.

前田雅之

A : 1 論文

- ①「古典和歌の世界と《十二か月風詠》」(『南アジア多言語社会における複合文化のなかの文学伝承』、科学研究費補助金・基盤研究(B)報告書、研究代表者水野善文、東京外国語大学、2020年3月、117-184頁)
 ②「古典註釈の展開を通して—宗祇から契沖へ—」(『日本思想史学』52、日本思想史学会、2020年9月、5-12頁)

2 書評

「坂元昌樹著『〈文学史〉の哲学 日本浪漫派の思想と方法』(『国語と国文学』、東京大学国語国文学会、令和3年1月号、2020年12月10日、74-79頁)

3 事典執筆

- ①、「三国世界観」(272-273頁)
 ②、「家職と家学」(280-281頁)
 (①・②ともに『日本思想史事典』、丸善書店、2020年4月)

B : 1 学会活動

- ①中世文学会委員
 ②説話文学会委員、説話文学会賞銓衡委員

C : 1 講演

①島原市主催の講演会(「近世大名文庫と古典的公共圏—松平忠房と松平文庫を中心に—」)が予定されていたが、春・夏ともにコロナ禍で延期となった。

D : 1 科学研究(近世において文庫を創設・形成した大名に関する総合的研究、基盤B、2018~21年)

- ①科学研究集会 5月16日に予定していたが、コロナ禍のため中止のやむなきに至った。
 ②島原松平文庫調査(2020年3月17日~19日、8月26日~28日、渡瀬淳子・松本麻子(以上共同研究員)・内田滯子(研究協力者)と松平忠房蒐集本の文献調査)
 ③書物の移動データベース構築(2020年3月27日~30日、8月31日~9月4日、12月26日~30日、明星大学前田研究室にて、書物の移動データベースの構築作業。渡瀬淳子と共に作業。)

2 ゼミ活動

コロナ禍のために前期は課題・発表資料により、私が意見・批判する展開。後期は卒論ゼミは対面(一対一)、三年の古今集ゼミ、二年の百人一首改観抄基礎ゼミはzoomで展開した。対面には劣るけれども、それなりの成果をあげられたと思っ

ている。

その他、和歌文学なる講義科目（課題文を提示）で毎回レジュメに載っている和歌の一句を用いて本歌取りをさせたところ、25名前後の参加者のうち5～6人、本歌取りに夢中になる学生が出たのも収穫であった。

来年度は従来通りのゼミ活動を行う予定である。

芳澤 元

- A：1 (論文)「僧坊酒宴と室町文化」、『藝能史研究』228号、p.30-45、2020.01.20
2 (論文)「光厳天皇—南北朝動乱に翻弄された人生—」、石原比呂伊・久水俊和編『室町・戦国天皇列伝』(戎光祥出版)、p.109-130、2020.03.20
3 (論文)「僧坊酒宴追考」、伊藤信博編『アジア遊学250 酔いの文化史』(勉誠出版)、p.35-47、2020.07.31
4 (論文)「梅尾茶・醍醐茶の評判—14世紀高山寺の喫茶文化—」、永井晋編『アジア遊学252 中世日本の茶と文化』(勉誠出版)、p.105-121、2020.09.20
5 (論文)「醍醐寺賢西の『梅林折花集』と『真友抄』」、『説話文学研究』55号、p.5-15、2020.09.30
6 (解説)「新刊紹介 中世禅籍叢刊編集委員会編『中世禅への新視角—『中世禅籍叢刊』が開く世界—』」、『史学雑誌』129-7号、p.73-74、2020.07.20
- B：1 日本学術振興会学術研究費補助金(若手研究)「分野横断的な中世仏教文献の研究—南北朝期の新史料『梅林折花集』を中心に—」研究期間：2018.04～2021.03【研究代表者】
2 国際日本文化研究センター重点共同研究「応永・永享期文化論—「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざままで—」研究期間：2018.06～2021.03【共同研究員】
3 野上記念法政大学能楽研究所：共同利用・共同研究拠点(能楽の国際・学際的研究拠点)「能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究」2017.06～現在(研究代表者：高橋悠介)【研究分担者】
4 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 領域開拓プログラム(課題D：嗜好品の文化的・社会的意味)「失われた飲食文化の復活と現代に問いかけるその意義」2017.10～現在(研究代表者：伊藤信博)【研究分担者】
5 頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「室町後期から江戸期の絵写本・版本研究を通じた日本学研究と西欧とのネットワーク構築」2017.10～現在(研究代表者：伊藤信博)【研究担当者】
6 (研究発表)「中世禅林の僧坊酒宴」、鎌倉禅研究会第163回公開講座(於：大本山建長寺大庫裏応真閣 神奈川県鎌倉市)、2020.10.15
7 (学会活動)佛教史学会委員 2008.10～現在
8 (学会活動)早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員 2013.04～現在
9 (学会活動)国際日本文化研究センター共同研究員 2018.06～現在

10 (学会活動) 法政大学野上記念能楽研究所客員研究員 2019.06～現在

- C : 1 (取材記録)「日本で最初にラーメン食べたのは誰?いつ?」、読売新聞、2020.09.23
- 2 (取材記録)「ラーメン 南北朝期に伝来…日中禅僧がもたらす 漢詩に記述 文芸にも影響」、読売新聞、2020.09.30
- 3 (取材記録)「初ラーメン 黄門様じゃない?」、読売中高生新聞、2020.10.02
- 4 (取材記録)「ラーメン“発祥の地”は博多? 「水戸黄門が初めて」通説覆るか」、西日本新聞、2020.12.21
- D : 1 (学内研究会)「歴史を旅する会」冬季エクスカージョン (於:石川県金沢市・富山県高岡市) 2020.02.11～13
- 2 (史料調査)高野山西南院所蔵聖教・古文書の調査・撮影 (於:高野山西南院:科学研究費補助金助成事業:若手研究) 2020.02.15～16
- 3 (調査編集)能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究 (於:法政大学能楽研究所:共同利用・共同研究拠点)
- 4 (学内)必修科目「古典文化基礎演習1・2」における中近世くずし字講読 (於:フリーソフト ZOOM を用いたオンライン授業) 2020.04～2020.12